

読みやすいテキスト

レイアウトの基本

素材(図面やスケッチ、テキストなど)が完成してからレイアウトを決めるのではダメ。レイアウトを決めてから素材を仕上げる。

ラフを用意して、レイアウトを決める。

ラフな図面、パース、スケッチ、写真、テキストを用意する。これらは、レイアウトのアタリをつけるためのもので、非常にラフなものでよい。

上記を、紙の上に並べてみて、レイアウトを考える。レイアウトグリッドを決めることが多い。

レイアウトが決まると、図面、CGパース、スケッチ、写真、テキストなどの幅と高さが決まる。

素材を決めたサイズで作成する。

図面は、大きく描いて縮小コピー(例:2倍の大きさと書いて50%縮小コピー)すると、美しく見える。縮尺を間違えないように注意すること。

スケッチも大きめに描いて縮小コピーすると美しく見える。

デジタルカメラの写真は、必要なサイズにプリントする。カメラ屋でプリントする場合は、下の普通のフィルムの写真と同じ手順を踏む。

普通のフィルムの写真は、できれば大きめにプリントしてもらって(2Lかキャビネぐらい)それをカラーコピーで必要なサイズに拡大、縮小する。

Form-Zのパースは必要なサイズでプリントする。

テキストは、ワープロのマージンの設定によって、コラムの幅を揃える。行間が広すぎたり、狭すぎたりしないように注意する。プリントし、余白を切り落とす。

素材を切る場合は、刃を折ったばかりのカッターナイフで切る。ハサミはダメ。

台紙に貼り込む

両面テープで貼る。糊はダメ。スプレー糊もダメ。

素材の四辺に両面テープを貼る。

目見当で張ってはダメ。定規を使って水平、垂直に貼る。柔らかい鉛筆で、ガイドラインを描き、あとで消しても良い。

両面テープを一気に全部剥いではダメ。位置を決めてから、はじめに1つだけ剥ぎ、貼り、そのあとで3つを剥いで貼る。

レイアウトの基本

素材(図面やスケッチ、テキストなど)が完成してからレイアウトを決めるのではダメ。レイアウトを決めてから素材を仕上げる。

ラフを用意して、レイアウトを決める

ラフな図面、パース、スケッチ、写真、テキストを用意する。これらは、レイアウトのアタリをつけるためのもので、非常にラフなものでよい。

上記を、紙の上に並べてみて、レイアウトを考える。レイアウトグリッドを決めることが多い。

レイアウトが決まると、図面、CGパース、スケッチ、写真、テキストなどの幅と高さが決まる。

素材を決めたサイズで作成する

図面は、大きく描いて縮小コピー(例:2倍の大きさと書いて50%縮小コピー)すると、美しく見える。縮尺を間違えないように注意すること。

スケッチも大きめに描いて縮小コピーすると美しく見える。

デジタルカメラの写真は、必要なサイズにプリントする。カメラ屋でプリントする場合は、下の普通のフィルムの写真と同じ手順を踏む。

普通のフィルムの写真は、できれば大きめにプリントしてもらって(2Lかキャビネぐらい)それをカラーコピーで必要なサイズに拡大、縮小する。

Form-Zのパースは必要なサイズでプリントする。

テキストは、ワープロのマージンの設定によって、コラムの幅を揃える。行間が広すぎたり、狭すぎたりしないように注意する。プリントし、余白を切り落とす。

素材を切る場合は、刃を折ったばかりのカッターナイフで切る。ハサミはダメ。

台紙に貼り込む

両面テープで貼る。糊はダメ。スプレー糊もダメ。

素材の四辺に両面テープを貼る。

目見当で張ってはダメ。定規を使って水平、垂直に貼る。柔らかい鉛筆で、ガイドラインを描き、あとで消しても良い。

両面テープを一気に全部剥いではダメ。位置を決めてから、はじめに1つだけ剥ぎ、貼り、そのあとで3つを剥いで貼る。